

もんじゅ

もんじゅもんじゅ

Monju：福井県敦賀に設置されている日本の高速増殖炉の原型炉。動力炉・核燃料開発事業団（現、日本原子力研究開発機構）が開発した。1968年から設計・建設計画に着手、熱出力714MW、電気出力約280MW、燃料は炉心部でPuO₂とUO₂を使用、ブランケット燃料にはUO₂を使用する。増殖率約1.2。1983年5月設置許可、1991年5月18日完成、1994年4月臨界を達成し、1995年8月29日に初送電を行った。1995年12月8日、2次冷却系ナトリウムの漏えい事故が発生した。1998年3月安全総点検報告書を取りまとめ、2005年2月に福井県など地方自治体からナトリウム漏えい防止のための改造工事の了解を得て、再運転に向け改造工事を開始した。2007年度末頃に一連の工事、プラント確認試験等を終え、2008年度初めには臨界試験を実施する予定となっている。もんじゅ（文珠）の名は、ふげん（普賢）とともに、釈迦如来の脇士としてその左側に侍る獅子に乗った姿で表される菩薩の名に由来する。

<登録年月>

2007年08月
